



かわら版



2023年4月 NO.4

合同会社IアンドS

福岡市中央区大名 2-10-1 A1208

TEL092-791-1498 Fax092-791-1641

4/1 スタート

【自転車ヘルメット努力義務へ】

4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。自転車事故で亡くなる方の約6割が頭部の損傷が原因というデータも、この度の法改正の一因のようです。

義務ではなく、努力義務ということもあり、かぶらないという声も聞かれますが、サイクルショップにはヘルメットの問い合わせが多くきているそうです。

見た目がほとんど帽子と変わらないようなデザインのものが人気のようですよ。



約半世紀ぶり

【新型宇宙服公開】

半世紀ぶりとなる月面着陸を目指す、「アルテミス計画」で用いる宇宙服の試作品が公開されました。

現在使われている宇宙服は、40年以上前のデザインが基本となっています。

月の長期探査や地球上空の民間ステーション滞在が始まる新時代の宇宙服が求められ、NASAは宇宙服の開発を試みていましたがうまくいかず、民間企業が開発する宇宙服の利用を選びました。

Artemis IIIは、2025年に月の南極付近に着陸する予定です。

「一人乗りの宇宙船」と呼ばれるほど様々な技術が詰め込まれた宇宙服にも注目したいですね。



フルミスト国内承認

【インフルエンザ経鼻ワクチン】

鼻にスプレーするタイプのインフルエンザワクチン、フルミストが国内承認となりました。今までは国内未承認ワクチンでしたので、接種希望時は輸入し、公的な補償制度もありませんでした。

このフルミストはインフルエンザウイルスの一般的な侵入口である鼻の粘膜に免疫を誘導するので、高い感染防御効果が期待できます。

また、注射と異なり痛みが少なく、接種を受けやすいという特徴もあります。



A I 技術

【ディープフェイクを見破る】

近年大量のデータを AI に学習させることで、本物と見紛う映像などが技術的に可能となりました。

現在はこれを悪用し、人物の顔を他人の顔に置き換えたディープフェイク映像による偽情報の流布が、社会問題になっています。

日本の研究チームが開発した、AI が生成したフェイク顔映像の真偽を自動判定するプログラムを、IT 大手のサイバーエージェントが採用、実用化されることになりました。

偽映像を排除し、著名人やタレントの肖像権を守ることに期待できます。



【さらに正確に】

生成 AI の新しい基盤技術、大規模言語モデル「GPT-4」が開発されました。

人が書くように文章をつくる生成型 AI として、ChatGPT が昨年から広く話題になっています。

今までの基盤では、武器の製造方法の質問に答えてしまうなど、課題が指摘されていましたが、GPT-4 の最新版では「違法行為に関する情報やガイダンスを提供することはできません」と回答されるようです。

ChatGPT を巡っては、企業の機密情報を収集している可能性や、不正なソフトウェア開発に利用される恐れも一方で指摘されており、欧州で一時禁止となったことなどに追随して、さまざまな国で議論がなされています。



刑事訴訟法改正案

【保釈中の海外逃亡防止策】

保釈中の被告の海外への逃亡を防ぐため、GPS 端末の装着を可能にする刑事訴訟法などの改正案が閣議決定されました。

今回の改正案は日産自動車の元会長の海外逃亡などを受け検討されてきたものです。

改正案では、裁判所が保釈を許可する際に海外逃亡の防止のため、位置情報を把握する必要があると判断した場合、GPS の装着を命令できるとしています。

その上で、空港などの「所在禁止区域」に立ち入ったり、無断で端末を外したりした場合、裁判所から連絡を受けた捜査機関が位置情報を把握し、身柄を拘束することができます。

改正案について、政府は今国会での成立を目指しています。

逃亡防止とプライバシー確保の両立に向け、慎重な審議が求められています。

